

日本人の価値観は変る。

5月14日に非常事態宣言が一部解除されました。新しい生活様式を取り入れる様に日本人は取り組まないといけないとも仰っています。それは新たな価値感【一極集中から地方分散・中央集権から地方分権（道州制）・メイドインジャパンの再構築・安全保障（自衛隊・食料安全保障を含む）の見直し・財務省の徴税権と寄付税制の関係・地球温暖化への対策・遷都問題】への転換を意味しています。

ところで安宅産業と言う名前の会社の存在をご存じですか。小生もこの会社の詳細を少しでは有りますが承知しています。木材業界では有名なお店でした。

服部商店も有力な原木問屋さんから『安宅の米檜・安宅のスプルース・安宅のアガチス原木』仕入をさせて頂いた記憶が有ります。

安宅産業は1977年10月に伊藤忠に吸収合併され70年以上の歴史を閉じたのですが、1977年当時各商社は、東京本社・大阪本社と二つの基盤を有していました。しかし安宅産業が吸収されて以降急速に大阪本社はなくなり、東京本社一極集中の道を進んで行きました。それが日本の産業の効率化と称していたのです。僅か40年ほどで軌道変更を余儀なくされると想像していますが、既に始まっている森ビルの虎ノ門の330メートルの超高層ビル、三菱が計画している東京駅の390メートルの超高層ビル等のビッグプロジェクトを如何にするか、小生は非常に興味を持っています。

2020年度の国の歳入は大きな穴が開くことは間違いない事実です。2021年度以降も歳入不足は否めないと思います。どうやって新しい日本を再構築するのですか。選択肢は新たな価値観しかないと思います。

新たな価値観って何。下記は小生のアイデアです。

- 1、一番行って欲しいのは遷都です。勿論京都と奈良の中間が良いと思います。（理由は地震における津波の心配がないからです）遷都と言うビッグなプロジェクトがないと簡単には日本経済の復興は難しいと思います。
- 2、大阪本社の復活です。大阪に本社機能が返ってくると言う話になれば、大阪人は積極的に何事にも参加します。
- 3、道州制の実現と各地方による様々な税制です。居住地において消費税・法人税・所得税・市民税全ての税金の体系の違いは各地方に多様な文化を育みます。それはインバウンドに頼り過ぎない国の運営を実現します。これくらいのインセンティブを与えなかったら中々新しい価値観創造の実現は出来ないと思います。
- 4、日本人の、より一層の世界中に対する安全保障に貢献。
- 5、寄付税制の改革。損金算入OK。（納税金額の10%まで。納税は本来、権利行使です。日本人は義務と思っています。全く反対です。
- 6、マイナンバー制度の国家公務員の閲覧制限と使いやすさの調和。
- 7、アマゾンに対抗できるMADE IN JAPANの台頭。

1～7は手段です。目的は日本人が物心共に豊かになる事の実現です。グローバル化の弊害に対応出来る仕組み作り。最終目標が実現できれば、少子化の問題も解決すると思います。

日本人に生まれて良かったと言えることです。

木材の常識とプロの材木屋とは

1、優良材ってそんなに多くあるの？

Y N

2、人間は氏より育ち。木は育ちより氏ということを理解していますか？

Y N

3、優良材の流通は出来ています。それを差し置いて買いに出かける。安く買えると思いませんか？

Y N

4、立ち木を伐採している方々の苦労を理解していますか？

Y N

5、品質低下の傾向は誰も解りません。小生も同じです。しかし品質低下を最大限下げる為の工夫をしている事をご存じですか？

Y N

6、アメリカでもそうですが良質材は決して売りに来ません。その現実を知っていますか？

Y N

7、断る事の難しさを知っていますか？

Y N

1～7項目を書きましたが、難しい問いでは有りません。これが服部商店を支えてきた礎です。この事を現在も忠実に守る以外に御客様と共に成長出来る選択肢はないと考えています。

亡き父服部良昌はおよそ50年昔、北海道のほぼ全ての産地を回りました。目的はカツラの優良な広葉樹製材工場と取引するためです。

当時日本は高度経済成長を迎える前、最高の時期に有りました。その時代も物づくりは、最高の原料を使う方が生産性の高い物づくりに結び付く事は解っていました。

現在ほど資源の劣化が進んでいないから、二流産地でも数量は限定されていました。良質材に近い材料は有りましたが、そこには裏が有りました。

士別にカツラの良材が有るから見てほしいと言って出かけました。土場で選木して値決めをして大阪に戻ると、全ての原木が送られないのです。半分しか来ないのです。半分は他の市場に出品されていたのです。

昔の材木屋は木をよく知っていたと言われていますが、一概にそうでも有りません。ノウハウを盗むために父親を利用したのです。

嫌な経験をした父は、うわべの話を聞いてくれる会社より、ほんま物を提供してくれる会社と取引をすることの方が正しい選択だと信じ、仕入れ先を日高に求めました。

日高に有る最高のカツラ原木を製材する工場は、士別の工場とは全く扱い方が違ったと言っていたことが記憶に有ります。最初に何をしに来た。お前に売るものはない。製材している商品は既に御客様がついている。先に金を持って来てもお前に売れない。売って欲しかったら原料を持って来い。こんな罵声を浴びたのです。

またこの工場は最終の出荷係をしていたおばちゃんまで、どこの誰々さんに、価格は幾らで品質はこれで出荷しています。こんな話を聞いて帰って来たのです。そういういきさつでこの工場との取引を諦めませんでした。

正常の取引をするのに、丸二年の時間が掛かったと聞いています。小生が15歳の夏休みに出掛けた時は、亡き父が築いてくれた人間関係が出来上がっていました。

1987年服部商店に入社した時には、小生を磨いてくれる北海道の仕入れ先との信頼関係は完成していました。そのおかげで現在の服部雅章の現在の信頼に足る基盤が出来たのです。

材木業者として世の中に貢献するなんてこの時代には全く意識は有りませんでした。しかしこの時代の経験があったから現実に服部商店が今有るのです。

勿論1998年から始めた木材のネット販売には、当初社内からも賛否が有りましたが、現在の日本に欠かせないツールではないでしょうか。

しかし良質木材を提供するためには、良質原木の調達が最も大事な作業です。その為最も大事なのは優良な産地との結びつきです。
























現在取引しているサプライヤーの産地は4地域です。その4地域をくまなく案内してくれる方は一人です。

4地域とも当然木の種類も違いますし、商いの規模も違います。森林の立ち位置も違います。経営者の方針・性格も違います。

あらゆる違いを調整してくれて、優良材を集めてくれるのです。現在取引しているルート以外にも商いのお誘いは有りますが、事実上お断りをしています。

ところで今シーズンは終わりました。半年すれば来シーズンが始まりますが、事実上上赛季のアメリカ広葉樹原木の買い付けは不可能だと思います。**(服部商店は1シーズン買い付けしなくても、皆様のための在庫を切らす事は有りません。安心してください。)**

日本人として誇ろう

場所 ^[a]	ケース ^[b]	死 ^[c]	Recov.
229	4,599,738	310,010	1,666,834
 アメリカ合	1,486,761	88,890	261,941
 ロシア ^[d]	272,043	2,537	63,166
 イギリス ^[d]	240,161	34,466	データなし
 スペイン ^[d]	230,698	27,563	146,446
 イタリア	224,760	31,763	122,810
 ブラジル	222,877	15,046	84,970
 ドイツ ^[d]	175,921	8,003	152,600
 七面鳥	148,067	4,096	108,137
 フランス ^[d]	142,291	27,625	61,066
 イラン	118,392	6,937	93,147
 ペルー	88,541	2,523	28,272
 インド	85,940	2,752	30,152
 中国 ^[d]	82,941	4,633	78,219
 カナダ	75,771	5,677	37,735
 ベルギー ^[d]	54,989	9,005	14,460
 サウジア	52,016	302	23,666
 メキシコ	45,032	4,767	30,451
 オランダ ^[d]	43,870	5,670	データなし
 チリ ^[d]	41,428	421	18,014
 パキスタ	38,799	834	10,880
 エクアド	32,763	2,688	3,433
 スイス	30,514	1,595	27,200
 カタール	30,972	15	3,788
スウェー	29,677	3,674	4,971
ベラルー	28,681	160	9,498
ポルトガ	28,583	1,190	3,328
シンガ	27,356	22	8,342
アイルラ	24,048	1,533	19,470
アラブ首	22,627	214	7,931
バングラ	20,065	298	3,882
ポーラン	18,016	907	6,918

本当に日本政府はコロナ対策について上手く立ち回っているのではないのでしょうか。5月中旬の世界中の数字です。

マスコミも免疫学に携わっている先生方も、日本のPCR検査は絶対数が少ないから、客観的に信じられる数字ではないと批評していますが、死亡者数が他国と大幅に違うのは、何故でしょう。

日本の素足文化・手洗いの習慣・ハグをしない習慣・定期的にインフルエンザワクチン接種する習慣等が挙げられていますが、科学的に証明された事実はまだ一つも有りません。

先進国で20,000人以下の感染者数、700人足らずの死亡者を、奇跡的と言っていますが、科学に奇跡なんて存在しません。偶然ではなく必然なのです。

ひとまず第一波は無事越えられたのではないですか。何故日本人は西欧と比較して患者が少ないのでしょうか。その事実を確かめる必要は有ります。

ところで未曾有の大不況に片足を踏み込んでいます。全ての産業に影響が出ます。その時に何を考えるのが大事です。

日本経済はおよそ 600 兆円です。国内消費はおよそ 65%です。国内消費の 390 兆が自粛で大幅に減少したのです。飲食店の場合売り上げが 90%ダウンしているのです。3 か月で底を打つのか（6 月から少しずつ回復するのか）それとも 6 カ月以上時間が必要かは誰も解りませんが、上記の他国との比較では日本は比較的早く回復すると感じています。

日本国の政策がどんな方向性を出すかは政治的な事は書けないので小生の考え方で書きます。

GDP の 4 月～6 月の数字がマイナスで有る事は間違いありません。計算しやすい様に年利 20% のダウンとします。

$360 \text{兆} \times 1/4 = 90 \text{兆円}$ $90 \text{兆円} \times \text{マイナス} 20\% = 18 \text{兆円}$
 $18 \text{兆円} \div 1 \text{億人} = 18 \text{万円}/1 \text{人}$ 10 万円の給付が有ってもマイナス 8 万円です。

8 万円のマイナスを単純に考えます。需給ギャップが 8 兆円あるのです。
今出来る事は下記の 3 つしかないのです。

一人頭 8 万円預金を減らす。 8 万円分の減税をする。* 8 万円分を給付する。

国はしばらく新しい生活様式を取り入れる様我々国民に奨励しています。しかしそれには負担がかかります。マスク・消毒液を購入するにも金銭が余分に必要です。

段階的に自粛を解除すると言っていますが、現在行われている競馬でも、競馬場の周りの関係者の経済的損失は莫大です。

我々に今できる事は、雇用を守りながら、現在の売上でもペイ出来る体制を短期的にする方法以外に選択肢は有りません。従業員の雇用を守りながら経費を最低限しか使わない。内部留保を使う。

しかし何も指をくわえてはいません。ポストコロナの事も熟慮しています。そして纏まったことから仕組みを作っています。

当たり前、時代の流れに逆らうことなく進める。それには何が必要なのでしょうか。

- 1、 政権交代可能な政治システム。
- 2、 グローバル化の流れに逆らわない国内のサプライチェーンの再構築。
- 3、 失敗しても再チャレンジできる仕組み。
- 4、 正しく価値判断が出来るお金の使い方。
- 5、 新しい国民の生活に不可欠な政治と経済の分離

トップページにも書きましたが、日本がよみがえる為には選択肢は限られています。

リーマンショックとは違い世界中の経済が落ち込んでいます。そして超人手不足から人余り現象に移りつつ有ります。

遷都が将来の日本人に一番向いた政策ではないでしょうか。場所の決定に色々な意見が出てくると思いますが、北海道出張から伊丹空港に帰阪する時京都と奈良の上空を通過して着陸します。その時、飛行機から見える景色を見れば、候補地の大きな選択肢になると思います。

是時皆さん、このコースで伊丹に帰阪されるとき窓側の席に座ってください。